

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を促す複線型の授業づくり

複線型の授業づくり

導入場面

(家庭 → 学校へ)



授業を始めます。
今日の授業は・・・

自己決定の場

私はタブレットを
使って、友達とま
とめていきます。

誰とどのように・・・
自己調整しながら・・・

ひとりで



途中参照・他者参照による学び
協働編集による学び

友達と



先生と



- ・教科書をまずは見てみよう・・・
- ・タブレットを使って検索しよう・・・
- ・思考ツールを使って・・・
- ・オンラインでつないで・・・
- ・先生にアドバイスをもらいながら・・・

振り返りの場

習熟場面

(学校 → 家庭へ)



僕は、もう一度ノートにまとめてみよう



私は、教科書を見直してみよう



僕は、ドリル教材で復習しよう

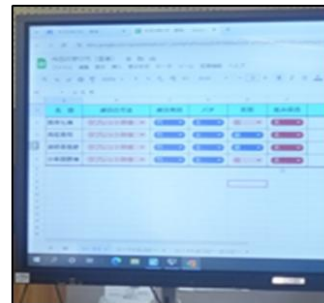
・私はYチャートを使って
友達と意見を出し合った
ことで、考えを深めること
ができました。
・私は、〇〇さんの意見を
参考に、教科書を見直し
たことで、昔と今の違いを
整理することができました。

自己の活動の振り返りや
授業での達成内容を入力
(学習ログの蓄積)

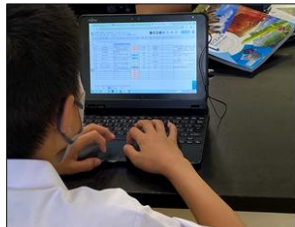
学習ログの蓄積シート

教師が流れを提示

形態・方法・内容等
を自己決定



全体で共有
(電子黒板)



振り返りシート（現代の日本と私たち）					
項目	内容	達成度 (%)	内容	達成度 (%)	内容
1	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。
2	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。
3	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。
4	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。	90%	現代の日本と私たちの関係について、自分たちの役割を考えた。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 学校・家庭・地域で育成する情報活用能力

学校

学校での学び

協働編集・他者参照

スライドを使っの発表

協働的な学び

個別最適な学び

家庭

家庭学習における英文音読練習

課題のやりとりはクラウド上で行っている。

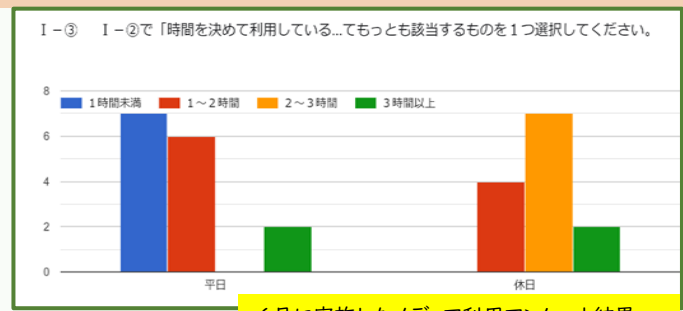


学校

家庭

地域

保小中連携の中で取り組んでいる情報モラル教育の推進(R5～R7)



情報活用能力系統表

	高学年	中学校
情報活用能力の育成	目的に応じてPC・タブレットで情報を集める	複数の資料から、目的や必要に応じた情報を取り出す
情報の収集	電子メールで情報を集める	複数の表やグラフからデータを読み取る
情報の整理	辞典などから情報を集める	目的や必要に応じた適切な方法で情報を検索する
情報の活用	新聞記事から情報を集める	
情報の発信	使用するPCの特性を生かしながら情報を集める	
情報の共有	複数の資料から、目的に応じて特定の情報を集める	
情報の評価	問題解決の手段を論理的に組み立てることのよさが分かる	
情報の活用	体験を通して、プログラムの働きやよさ、情報の活用を支えていることに気付く	

系統表と関連させながら、発達段階に応じた指導を行っている。

ノーメディアデーの推進 (学校・家庭・地域との連携)

子供たちに取り組めるレベルを設定させて、自主的な実践につなげていく。

レベル	コース	実践の名称	実践の概要
レベル1	コース1	読書+運動コース	読書+運動コース
レベル2	コース2	読書+カードゲーム	読書+カードゲーム
レベル3	コース3	読書+ボードゲーム	読書+ボードゲーム
レベル4	コース4	読書+おしゃべりコース	読書+おしゃべりコース
レベル5	コース5	読書+おしゃべりコース	読書+おしゃべりコース
レベル6	コース6	読書+おしゃべりコース	読書+おしゃべりコース

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 家庭から学校に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習予習型

クラウドを活用して事前に考えをもたせてくることで、教師が授業前に児童の考え方の把握、考え方の修正やアドバイスにつなげる。また、スムーズな授業展開を通して、協働解決の時間の確保や習熟時間の充実につなげる。

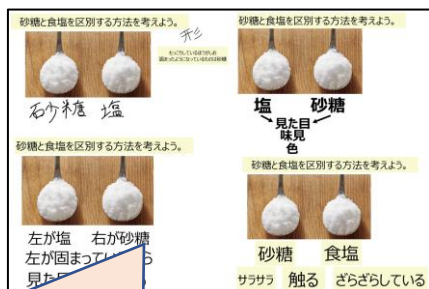
家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】を家庭で行う

中1 理科 単元名: いろいろな物質とその性質



物質を区別する方法について各自が発表ノートにまとめてきたことで、意見の共有や比較をすることがスムーズであった。多様な考えに触れることができ、本時の学習課題につなげることができた。

【考えをもつ・問いを解決する段階】の時間の充実



意欲的に活動する姿が見られた。実験・考察の時間が確保され、作業のスキルも向上が図られた。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】から次のステップへ

生徒の反応

「次の授業で今日習ったことを生かしていこう」「Xの正体を知りたい」など、意欲や成長が見られた。

家庭で考えをもたせることで導入の時間を短縮し、協働作業・協働解決・確かめる時間を確保する。

コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）

- ① 学びに連続性をもたせる。
- ② 時間を効率的に使う。
- ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 学校から家庭に学習をつなぐコネクト学習

コネクト学習復習型

学校で学んだ内容について、AI 型ドリルで復習したり、Microsoft Teamsの音読練習を活用したりすることにより、個別最適な学びにつなげる。

家庭

学校

家庭

【問いをつかむ段階】

【考えをもつ・問いを解決する段階】

中2 国語 単元名:字のない葉書



前時に学習した内容を想起できるよう、本時の流れを提示した。

視覚的に流れを確認させることで、見通しをもって授業に臨むことができた。



様々な心情をもつ人物像を多面的に見ることができ、読みを深めることができた。

- コネクト学習のねらい（一人二台のタブレットの活用）
- ① 学びに**連続性**をもたせる。
 - ② 時間を効率的に使う。
 - ③ 主体性を高め、確実な学びにつなげる。

【まとめる・確かめる・振り返る段階】の時間を十分に確保し、家庭での学習につなぐ

自己の振り返りをGoogleスプレッドシートにまとめさせた。

生徒の反応

他のグループの意見を聞いて、父親や筆者のことが、深くわかるようになった。

家庭での学習

家庭で他のグループの意見を参考に、スライドにまとめてくるようにした。



学校でスタンダードの授業の流れを行い、家庭で自分の力に合わせて「確かめる」学習を充実させる。

リーディングDXスクール事業【実践事例】

西米良村立西米良中学校（宮崎県）【指定校】

【取組内容】 共有シートを用いた協働作業の中で実現する研修の深化

模擬授業の様子

研究協議会の様子

協議会における共有シート



生徒役として小中学校の職員に参加してもらい、模擬授業を行った。



授業後の協議場面で共有シートを用いながら入力し、全体共有の中で情報の整理分析を行った。
様々な角度から授業を分析できたことで、研究に生かすことができた。

主体的・協働的に学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成
～学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して～

模擬授業① 2班

場面	観点	評価
1. 導入	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・導入の場面が、スライドで示すように、生徒の興味を引くように工夫されている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。
2. 展開	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・展開の場面が、スライドで示すように、生徒の興味を引くように工夫されている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。
3. 評価	・協働する中で学び合い、創造性豊かな児童生徒の育成 ・学校と家庭をつなぐコネクスト学習を基盤とした複線型の授業づくりを通して	・評価の場面が、スライドで示すように、生徒の興味を引くように工夫されている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。また、生徒の意見や質問に対して、丁寧に答えている。

事後アンケート

アンケートの結果をAIで分析

研究推進委員会等で報告

R6 第三回小中合同主題研究会アンケート

研究協議会前実施されました。先生方のご意見を伺い、ご協力ありがとうございました。

アカウントを切り替える

共有なし

* 必須の欄です

1. 本日の実践研修会について、感想をお書きください。（学びになったこと、時間配分等）

回答を入力

2. 本日の実践研修会について、感想をお書きください。（学びになったこと、時間配分等）

回答を入力

参加した教職員にアンケートを実施した。

1. 本日の授業を受けて、成果についてお書きください。（学びになったこと、良かったこと等）

1. 複線型授業の評価と理解
小学校の先生方の授業を通じて理解：複線型の指導について小学校の先生方の授業や小中学校の先生方の授業を通じて理解できた。振り返りの観点：丁寧な指導、振り返りの観点が授業の初めに生徒と共有されていたことを評価。

2. 研究と教材作成の意欲
自作教材で取り組みたい：自分の教材で取り組みたいという意欲を示した。

3. 評価の重要性
最終評価の示し方：どこまでやればよいかなど、児童・生徒に事前に提示することの大切さを学んだ。

4. 生徒の自主性とICTツールの活用
生徒自身が学びを選択できる場：複線型の授業について良い機会と捉えた。自己決定の大切さとICTツール：生徒が自己決定できることの大切さ、ICTツールを使った学びの方法について言及。

5. 教師の姿勢と研究の深化
信喜先生の積み重ねの成果：生徒の様子や反応から、信喜先生の授業の積み重ねの成果を感じた。研究を深める意欲：今後も複線型の指導法について研究を深める意欲を示した。

6. 授業方法とアウトプットの重要性
他者の事例を参考に：アウトプットや他者の事例の仕方を勉強になった。

2. 本日の授業を参観して、課題だと思ったことについてお書きください。

1. 板書の在り方
板書の工夫が必要という意見が見られます。これにより、授業の内容が生徒にとってより分かりやすく、理解しやすくなります。

2. 生徒同士の理解と評価
生徒の発表時に他の生徒がどれだけ理解しているかについての確認が重要とされています。他者参照や相互評価の場面を増やすことが課題です。

3. 事前・事後の授業計画
授業前後の計画についての関心が示されています。特に、事前の準備や事後の振り返りが学びの効果を高めるために重要です。

4. 複線型の工夫
授業の複線化（多面的なアプローチ）をどれだけ意図的に行うかが鍵となっています。教師がファシリテーターとしてどのように関わるか、また生徒にその意図を伝えることが重要です。

5. 協働的な学び
協働的な学びの中で、個々の学力をどのように定着させるかが課題です。協働的な学びや学習の時間を確保することが必要です。生徒同士の協働学習の時間配分を増やすことで、学びの効果が期待できます。

6. 発表・フィードバックの機会

3. 本日の研究協議会についての感想を教えてください。（時間配分、研究協議会等）

1. 全体的な満足度
満足度の高さ：多くの参加者が研究協議会に対して非常に満足しており、「いつも運営が丁寧でいいです」「大変参考になりました」と感謝の意を示しています。運営への感謝：「お忙しい中、企画・運営・授業等々ありがとうございました」という意見があり、運営全般が高く評価されています。

2. 協議会内容と進行
視点の多様性：中学校の先生の意見を聞くことで新しい視点に触れることができたと感じている参加者が多いです。協議の進めやすさ：「協議の視点が多様だったのが話し合いが進めやすかった」という意見があり、協議内容が明確であったことが好評でした。

3. 時間設定と形式
視点の多様性：「時間がたっぷり設定されていた」という意見があり、十分な時間が確保されていたことが評価されています。グループ協議の効果：「個別協議も盛り上がり」「グループ協議でよかった」と、グループ形式での協議が効果的だったと感じる参加者が多いです。

4. 指導と評価
指導主事の助言：中部教育事務所の指導主事からの指導が非常に参考になったという意見があり、授業のデザインに関する視点を学ぶことができたことが評価されています。評価の難しさ：「指導と評価の一体化の難しさを感じました」という意見があり、指導と評価を一体化することの難しさが課題として挙げられています。

活用のメリット

クラウドの活用により、意見の集約、共有、分析、保存が容易になり、協議が深まりのあるものになる。